

5月1日メーデーに参加しよう!



5月1日(月)
正午開場・午後1時式
典開会
井の頭公園西園にて



発行所

東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部

東京都三鷹市上連雀7-33-8

電話 0422(47)9101

Fax 0422(47)9104

発行責任者 高橋 公二

私たちの願いを投票で示そう

4月23日は三鷹・武蔵野市議選投票日

4月23日は三鷹・武蔵野市議選の投票日です(三鷹は市長選も実施)。物価・資材高騰に加え、10月には消費税のインボイス制度が実施されようとしており、私たちの仕事や暮らしが深刻な状況のもとで行われる今回の選挙。自分達が居住している一番身近な自治体において「誰が私たちの要求を実現してくれるか」を見極め投票することは私たちの仕事や暮らしに直結します。

三鷹武蔵野支部では、仲間へ投票する際の指標としてもらうために、三鷹・武蔵野両市の全会派に向けて東京土建の要求に対する質問状(下の囲みを参照)を送付しました。会派からの回答を今月の「群会議の話題臨時号」として配布しています。ぜひ読んでいただき、必ず投票へ行くようにしましょう。

東京土建三鷹武蔵野支部

「公開質問状」の要求10項目

- 物価高騰対策として自治体独自の助成制度の創設
- 「インボイス制度の導入中止等」を求める国への意見書提出
- マイナンバーカードの事実上の強制に関して国への意見書提出
- 三鷹・武蔵野地域における保健所の復活
- 労働者への適正な労働条件のため公契約条例の制定
- 建材メーカーも拠出するアスベスト補償基金制度実現をめざす国への意見書提出
- アスベスト事前調査・除去工事の助成制度の創設
- アスベスト調査に係る空き家の利活用などリフォーム助成の創設
- 公共工事などへの建設キャリアアップシステムの運用支援

⇒各会派の回答については、今月配布の「群会議の話題臨時号」をご覧ください。



谷口組組長(武蔵野中央)

「春の拡大月間」がスタート、4月1日には三鷹市公会堂さんさん館にて「春の拡大活動者会議」を開催し42名が参加しました。はじめに本部の中宿書記次長を講師に迎えて学習会を行い「様々な困難の中で仲間の相談に乗ってきたことで、改めて分会・群の基礎組織の重要性が明らかになってきました。自治体の要求実現のためにも、拡大月間で分会・群の活性化が大切」と

【高橋公二組織部長記】3月25日から組合の仲間を増やす「春の拡大月間」がスタート、4月1日には三鷹市公会堂さんさん館にて「春の拡大活動者会議」を開催し42名が参加しました。はじめに本部の中宿書記次長を講師に迎えて学習会を行い「様々な困難の中で仲間の相談に乗ってきたことで、改めて分会・群の基礎組織の重要性が明らかになってきました。自治体の要求実現のためにも、拡大月間で分会・群の活性化が大切」と

その後各分会で決意発表を行い、武蔵野中央分会は谷口組織部長から1名の持ち寄りがあり「事業所からの対象者が好調で、すでに目標達成は見えています。この月間は、後継者世代の担い手を発掘するために行動していきます」と力強い発言がありました。

今回の月間は、①分会の独自目標も合わせ全体で86人の加入目標の達成と1月組織人員からの実増に向けた土台作り、②後継者世代の出番づくりで分会・群の機能強化、③統一地方選への投票を呼びかけ自治体の要求実現、この3つを重点に取組みを進めていきます。



また「仲間を増やしてハッピーを呼び込む」としてハッピーターンを拡大グッ



『ハッピー』呼び込み組織実増 春の拡大月間がスタート

語っていただきました。

めることができました。

昨年度は、3年目を迎えた新型コロナウイルスの相談に加え、インボイス制度や、石綿関連の法改正に関するアンケートを中心に仲間への聞き取り・周知を大きく広げました。また支部で初の試みとなるコーナPRでの宣伝にも取り組み、多くの建設従事者とながることができました。

2023年度は、建設アクション運動として喫緊の産業課題への対応を継続しながら、後継者世代の担い手育成



4年ぶりに分科会・分散会で議論深めました

雑記林

▼先日、福島県富岡町の桜並木のトンネルがテレビで紹介されていた。2011年3月11日の東日本大震災、原発事故、津波の恐怖、恐らくみなさん震災の怖さを初めて経験したのではないだろうか。▼廃墟化したこの町に咲いた桜、きつといつかは人々が帰ってくるのだろうか。それまで毎年表情を変えながら、見事な花を咲かせて帰宅困難者を待ちわびているのではないだろうか。「住み慣れた土地に早く戻りたい、高濃度の放射線さえなかったら」との町の人の声にうなずく私。▼4月になり新年度がスタートしましたが、昨年2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、1年たった今も続いている。一体どこまでウクライナの人々を苦しめ続けるのだろうか。ロシアはベラルーシに核兵器を配備すると表明しており、もし核など使用されたら世界中を巻き込む戦争になってしまう。

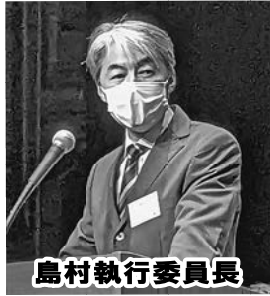
▼そして今、気候変動についても地球温暖化が大きな問題となっている。人類にも大きな影響を及ぼすこの問題、人類が排出する温室効果ガスが温暖化を引き起こしていることとはもはや「疑いの余地がない」と断定されている。▼こうした「一つひとつの問題に私たちはどうすれば良いのだろうか。全ての人が考えなければならぬ課題ではないでしょうか。」

産業の多数派形成と仲間のつながり強化で建設アクションを発展させ大衆運動と結びつけ働く者の仕事と暮らしを団結して守ろう!

支部定期大会にご参加いただけなかった組合員のみならずに向けて、第9回支部定期大会にて承認された2023年度の活動方針を掲載いたします。

今年度も引き続き、東京土建の諸活動へみなさんのご理解・ご協力をよろしく願っています。

2023年度活動方針



島村執行委員長

(一) 各分野の取組み

1. 喫緊の産業課題へ取り組む建設アクション運動

① 2023年10月導入が予定されている「インボイス制度」の相談活動を導入阻止の運動参加へとつなげる。

② 2023年10月施行となる「石綿含有調査者による事前調査の届出義務化」の宣伝・周知。石綿関連の法改正に伴う講習受講の促進。

③ 2024年4月に迫る事業所の「働き方改革」の周知。建退共の普及や、月給制や週休2日制になり、事業所へ働きやすい環境づくりを進め、退社による労働者不足と組合脱退を抑えます。

2. 憲法に沿った社会保障政策への転換を目指して

国民本位の社会保障政策へと転換させるため、大衆運動を大きく繰り広げていきます。多くの仲間を取りくむ「ハガキ要請行動」をはじめ

め、「都議会議員賛同署名」「地元国会議員要請」などを進め、特定健診の受診率および個別健康サポートの利用率向上により、国・都の補助金現行水準確保を目指します。

3. 全丁場の仲間の賃金・単価、労働環境の改善を目指す運動で建設従事者の組織化を

2022年度は、10月18日に支部主催の公契約条例学習会に多くの市議、市職員も参加するなど、公契約条例の制定へ向けて大きく前進した一年でした。2023年度はこの流れを止めないよう公共工事現場の実態の積み重ね、アンケートで上げられた仲間の声を市長懇談や会派懇談などで届けながら、公契約条例制定の進展を目指します。

PALの会では大手現場で働く仲間から多くの情報を拾い上げ、現場環境の改善と賃金・単価の上昇を目指します。

4. 全てのアスベスト被害者救済と現場の安全確保に向けて

アスベスト被害は、国では「給付金制度」が始まりましたが、製造企業については謝罪も補償基金への参加もなく、訴訟による闘いが続い

います。国会議員要請や集会等への参加、駅頭宣伝や署名活動を通じて世論への周知を進めていきます。

一方、石綿含有調査・届け出が義務化されました。支部では「公的負担で行なう費用への補助制度」の創設を求め、自治体への要請を進めていきます。

安全衛生対策の取組みで

は、日常的な周知や安全衛生大会の開催、「一人親方・中小事業主」の現場パトロールなどを計画していきます。

5. 地域との関係・信頼づくりから仕事確保へ

第46回住宅デーでは、6月11日の統一開催日を中心に全分会での実施を目指します。住宅デーを通じて地域との信頼関係を築き、仕事確保にもつなげていきます。

防災活動の推進は、三鷹・武蔵野市ともに締結している防災協定に基づき、災害が起きた際に地域建設業としての力が発揮できるよう体制づくりを進めます。

住宅センターの活動では、住民からの相談に応え、点検商法から地域住民を守る取組みや「ドローン調査」の宣伝・周知を広げていきます。

6. 技術技能の向上と処遇改善、組合の担い手確保を進めよう

仲間の必要に応じて10%の受講目標を目指します。石綿関連の講習については拡大月間に合わせ特別教育の支部開催を2回計画します。

建設キャリアアップシステムの推進は、建設業者の処遇改善につなげるビジョンを示し登録者増へとつなげます。



渡邊書記長

カレッジ生確保の取り組みは、組織活動の一環としても捉えた運動づくりを進めていきます。

7. 組合の新たな仲間と協力者がともに増える組織づくりの好循環を目指して

2022年度は後継者世代の新たな顔ぶれが多く見られました。2023年度はこの流れを全分会へと広げていきます。

組織実増では、春と秋の拡大月間の目標達成を第一に掲げるとともに月間外でも確実な成果を引き上げます。「多くの新たな仲間を迎え入れる」↓「新たな活動参加者が増える可能性を広げる」↓「新たな情報源により紹介活動も倍増する」といった好循環を築き上げ、拡大運動と基礎組織の活性化に向けた取り組みを両輪で進めます。

8. 後継者活動の発展・強化を目指して

2022年度は「群会議才



後継者分科会

「読まれる機関紙」づくりを進めます。組合員に一番身近な分会新聞は、一紙でも多く発行ができるよう援助を強めます。支部LINEアカウン

トなどSNSの活用は、引き続き迅速な情報発信手段として仲間を広げていきます。

12. 「学習活動」の充実と強化をめざして

組合の原点である『たたか

って学び、学んでたか』の実践を基礎に、四役・常任執行委員を対象とする学習、分会四役・群三役学習会やワークスクールなど学習会に、仲間の参加を大きく呼びかけていきます。

13. 諸運動を支える健全な財政活動を進めます

分会財政では、相談活動を通じて滞納対策が必要です。改善されない滞納者については、分会全体の協力体制をつくり上げます。

東京土建には、群会議に参加し組合費を払うという組合員としての最低限の義務があります。群会議の参加率は納入率の向上については、組織部と連携した取り組みを進めていきます。

(二) 平和を守る取組み

1. 憲法9条改憲阻止の取

りくみ

東京土建が組合発足時から一貫して掲げる「二度と戦争を起させない」「戦争の為の建設は行わない」を強調

は、仲間のつながりを第一に



市村代議員 (牟礼北野)

「読まれる機関紙」づくりを進めます。組合員に一番身近な分会新聞は、一紙でも多く発行ができるよう援助を強めます。支部LINEアカウン

トなどSNSの活用は、引き続き迅速な情報発信手段として仲間を広げていきます。

12. 「学習活動」の充実と強化をめざして

組合の原点である『たたか

って学び、学んでたか』の実践を基礎に、四役・常任執行委員を対象とする学習、分会四役・群三役学習会やワークスクールなど学習会に、仲間の参加を大きく呼びかけていきます。

13. 諸運動を支える健全な財政活動を進めます

分会財政では、相談活動を通じて滞納対策が必要です。改善されない滞納者については、分会全体の協力体制をつくり上げます。

東京土建には、群会議に参加し組合費を払うという組合員としての最低限の義務があります。群会議の参加率は納入率の向上については、組織部と連携した取り組みを進めていきます。

東京土建には、群会議に参加し組合費を払うという組合員としての最低限の義務があります。群会議の参加率は納入率の向上については、組織部と連携した取り組みを進めていきます。

(三) 地域諸団体との共同

1. 武三地区労の取りくみ

武三地区労は、賃金引上げ・労働環境の改善、社会保障の拡充など共通する要求を掲げた地域活動を繰り広げています。三鷹武蔵野支部では、共同で取りくまれる集会や行動を盛り上げるため、最大の労働組合としての組織力を発揮し、大勢の参加で貢献していきます。

2. 新型コロナウイルス対策三鷹市民連絡会の取りくみ

引き続き市民連絡会が実施する、市民に運動への理解を広げていく駅頭宣伝と署名活動、必要に応じた学習会などへ参加し、共同の取り組みを進めていきます。

し、学習会や集会等への参加、69行動を含めた署名活動を強化し、地域への世論喚起を広げていきます。

2. 脱原発、環境・再生エネルギーへの転換に向けた

とりくみ

脱原発の流れに対する逆行を許さず、再生可能エネルギーへの全面転換を求め、地域や大規模で行なわれる集会等への参加、署名活動などの取り組みを強化します。

3. 核兵器廃絶・原水爆禁止世界大会への参加に向けて

署名活動や毎月の69駅頭宣伝行動、勉強会、平和行進へ参加し、原水爆禁止世界大会へ代表を送り出し、日本政府と世論へ核兵器のない平和な世界の実現を訴えかけていきます。

分会財政では、相談活動を通じて滞納対策が必要です。改善されない滞納者については、分会全体の協力体制をつくり上げます。

東京土建には、群会議に参加し組合費を払うという組合員としての最低限の義務があります。群会議の参加率は納入率の向上については、組織部と連携した取り組みを進めていきます。

(四) 被災地ボランティアの再開に向けて

平和・脱原発運動の一環として、いまだ復興が進んでいない福島の状態を肌身で感じるために、現地視察を計画します。2024年度からのボランティア活動再開を目指します。

(五) 統一地方選挙に向けた組合の立場

2023年は4月に統一地方選挙が予定されています。私たちに一番身近な選挙であり、私たちが市民の声(要求)を受けとめてくれる人であるか見極める必要があります。

組合では、組合規約の政党支持の自由を重んじながら、仲間への棄権防止を呼びかけていきます。

(六) 組織検討委員会

2023年度の組織活動は基礎組織となる「群の活性化および再建」「分会の後継者育成」を引き続き重点課題とし、これに向けた取り組みを全分会に広げていきます。群組織の強化で役員体制確立へと結び付けていきます。分会再編については群・分会の再建と活性化に向けた手段として、必要な分会との話し合いと調整を進めます。

(七) 会館建設費の借入金「繰り上げ返済」

四役および支部財政部長で全体の予算の検証を行い、会館借入金については、予想を上回る組織の減少となっている現状をふまえた結果「体力があるうちに借入をなくすべき」との判断に至り、2023年5月に全額繰り上げ返済の実行を提案します。

(2面つづき)

（八）創立10周年記念行事

2025年実施に向けて、2024年度に実行委員会を立ち上げます。

（九）第10回定期大会の代議員定数と支部役員立候補

第10回定期大会の代議員定数は、①支部執行部と②各分

会の2024年1月1日当初

の組織人員に対して20人に1人とし、特別代議員定数は、青年部5人、シニアの会3人、女性の会5人とします。

第10回大会における支部執行委員は、定期大会時点で満

65歳以上の者は立候補しない

こととします。なお欠員となつていない支部役員は、支部分会が協力し年度内の候補者擁立を目指し、分会および執行委員会の承認を経て選出できるよう努めます。

第9回定期大会で表彰されたみなさん

長年に亘り支部の取組みに貢献していただいた方を、支部で推薦します。

【本部表彰】

☆柴崎 由香さん（新川中原）
☆滝沢 英子さん（吉祥寺）
昨年度の組合（分会）活動に貢献された方を分会から1名推薦します。

【個人表彰（分会功労者）】

☆茶本 百合子さん（牟礼北野）
☆山口 由里さん（新川中原）
☆安保 権吉さん（連雀）
☆藤田 雅儀さん（大沢）
☆秋山 文子さん（吉祥寺）
☆吉成 寿記さん（武蔵野中央）
☆西元 春浩さん（関前）
☆千葉 たか子さん（女性の会）
☆薄葉 七郎さん（けやきG.C.）
※後日表彰状、記念品を贈呈します。



「2年間お世話になりました。引き続き分会で頑張ります」退任あいさつをする轟二徳さん（新川中原）

今大会をもって退任される役員

今大会をもって退任される役員の方は次の通りです。

☆轟 二徳 執行委員（新川中原）
☆東條 セツ子 執行委員待遇・けやきG.C.会長（吉祥寺）
☆齊藤 純子 執行委員待遇・女性の会副会長・主婦の会ブロック長（大沢）

《第9回三鷹武蔵野支部定期大会にメッセージをお寄せいただいた来賓の皆様》（敬称略）

本大会も、国会議員、武蔵野市長をはじめ多くの組合・協力団体の方々からメッセージをお寄せいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

- 東京土建一般労働組合
- 東京土建技術研修センター
- 東京土建国民健康保険組合
- 東京土建一般労働組合 調布支部
- 東京土建一般労働組合 狛江支部
- 劇団 前進座
- 三鷹民主商工会
- 武蔵野建設組合
- こくみん共済 東京推進本部
- あかつき印刷 株式会社
- 東京第一会計 ほか

【政党・自治体】

- 衆議院議員 菅 直人
- 衆議院議員 生稲 晃子
- 衆議院議員 伊藤 達也
- 衆議院議員 笠井 亮
- 武蔵野市長 松下 玲子

※東京土建各支部からもメッセージをお寄せいただきましたが、支部名の紹介は省略させていただきます。



今大会で選出された新役員のみなさん

けやきグリーンクラブ



けやきグリーンクラブは3月14日に支部会館にて第9回総会を行い27人の会員が参加しました。

65歳以上の組合員を対象に、同世代の親睦を深めるとともに、高齢者に共通する要求の実現などを主な活動としていきます。

2022年度は、新型コロナウイルスが少しずつ落ち着く中で、江戸東京たてもの園への散策や日帰りバス旅行などを行行などを行い交流を深めました。

2023年度も学習会やバス旅行などを通じて会員同士の交流を図り親睦を深めていきます。

また、春・秋の会員拡大でも目標達成することができました。

また、春・秋の会員拡大でも目標達成することができました。

女性の会

画し女性の会 1月現勢36 6人の回復を目指していきます。

後継者世代の発掘については、より一層力を入れます。

世代向けの交流会や学習会の取組みに力を入れていきます。

新年度の役員は右記の通りです。

現在の青年部は、活動家がいないため、部会や独自イベントを開催することができず大

現在の青年部は、活動家がいないため、部会や独自イベントを開催することができず大

青年・女性・シニア各分会で総会開く

3月の年度末を迎え青年部・けやきグリーンクラブ・女性の会が総会を開きそれぞれ新体制が決まりました。

また、各分会でも分会総会が行われ、新年度に向けた役員体制や運動方針について話し合いが行われました。

分会総会

3月17日から30日にかけて全10分会で分会総会を開催、総勢で144人が参加しました。



武蔵野中央は終了後に懇親会も

井の頭コミセンで13人の参加で総会を開催。群会計が高齢化している中で、集金方法などについて議論をしていくことなど話し合いました。

また武蔵野中央分会は3月19日に魚はまで総会を開催、15人が参加しました。

また武蔵野中央分会は3月19日に魚はまで総会を開催、15人が参加しました。

青年部

青年部は3月29日に支部会館にて青年部大会を開催、昨年度の活動報告と次年度の方針提案、予算案の承認を行いまし

2023年度は、まずは後継者イベントへの参加者等から一緒に活動できる仲間を見つけていき、年度内の部会や単独イベントの開催を目指していきます。

2023年度は、まずは後継者イベントへの参加者等から一緒に活動できる仲間を見つけていき、年度内の部会や単独イベントの開催を目指していきます。

- 【けやきグリーンクラブ新年度役員】
- 会長 坂本 正美（新川中原）
- 副会長 田村 藤作（牟礼北野）
- 基野 健治（連雀）
- 高橋 一夫（吉祥寺）
- 事務局長 麻生嶋初枝（連雀）



井の頭分会総会

また武蔵野中央分会は3月19日に魚はまで総会を開催、15人が参加しました。

また武蔵野中央分会は3月19日に魚はまで総会を開催、15人が参加しました。

たまには話題の映画でも

話題の新作映画を、ご家族で観に行きませんか。下記以外の映画も多数あります。ご注文は早めに(下記は一例)。

【映画券】

☆劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～」【ムビチケカード】

☆ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー

☆銀河鉄道の父【ムビチケカード】

☆劇場版 推しが武道館いってくれたら死ぬ

【ムビチケカード】

☆劇場版 PSYCHO-PASS サイコパス PROVIDENCE【ムビチケカード】

☆岸边露伴 ルーヴルへ行く【ムビチケカード】 など他多数

◇映画・イベントなど「メイジャー」のHPで検索してください。

※注文や問い合わせは、支部事務所0422-47-9101まで

※注：割引額は、前売券の販売価格から一律500円です。



お子さんが小中学校に入学した方へ

【厚生文化部発】この春、お子さんが小中学校に入学された方に「入学祝い金」として5000円分の図書カードがプレゼントされます。土建国保に加入していない組合員は、ご自身が対象かどうか支部までお問い合わせください。(土建国保に加入している方は案内をお送りしています)

『対象となるお子さんの年齢』

①小学校

平成28年4月2日～平成29年4月1日生

②中学校

平成22年4月2日～平成23年4月1日生



「関前分會・松本守史記」写真の模様は銅板で作成した縁起が良いとされる吉祥文様の一つ「青海波」その意味は無限に広がる波の模様に未来永劫へと続く幸せへの願いと、

人々の平安な暮らしへの願いが込められている。一年以上続くロシアのウクライナへの侵攻で一般市民に多くの犠牲者が出ている。テレビで建物が砲撃によって破壊され、地下に避難している子供たちの映像が流れ世界中にその悲惨な状況が伝えられている。私も小さな子供を持つ親として胸を締め付けられる思いだ。青海波文様

を施してある壁面は、私の知る限り故郷の和歌山城くらいで、かなり昔に作られた物でその頃にも同じような思いで模様を施したのかわかりません。また、作り方も違っていて私のは波模様を三分割してさらに模様を浮き出させる為に、薬品を使い硫化させて着色したものだ。ホームページやインスタグラムなどで画像をアップすると反響が大きいく、中でもよく聞かれるのは「施工主や設計士からの依頼で施工したのか？」というものであった。実はこの仕事は、長い付き合いの建築会社の社

長からお任せでと言われ、見積もりや打ち合わせもなく、完成するまでのお楽しみの仕事でした。カラー写真で見ると一箇所だけ金色(真鍮)の部分があり、何か意味合いがあるのか質問される。そんな時に返す答えは「しいて言えば大人のイタズラです(笑)」と言っている。

私が、和歌山城の青海波文様を見て感じたように何故一箇所だけ金色なのか、それぞれ見た人が感じたままに解釈してもらえば幸いです。平和への波が大きく広がる事を望んでいます。

今月の資格講習

会場の記載のないものは、東京土建技術研修センターです。申込みには、申込書・受講料・認印・顔写真(3cm×2.5cm)1枚が必要です。申込書は講習日の2週間前までに支部必着です。受講料など詳しくは支部担当までお問い合わせください。



後継者対策部発

家族みんなで「潮干狩り」

【後継者対策部】後継者世代2023年度のイベント第1弾として「潮干狩りツアー」を下記の日程で開催します。潮干狩りにバーベキュー、アウトレットでお買い物と盛りだくさんの内容です。

今月チラシを配布しています。事業所の同僚や、家族や分会の仲間同士など多くのみなさんの参加をお待ちしています。



【とき】5月21日(日)午前7時～午後6時

【ところ】木更津市金田みたて海岸

【参加費】

大人3000円 小人(小学生以下)1500円

(潮干狩り代、BBQ代、バス代を含みます)

【定員】60名 【締切り】4月26日(水)

【参加対象】

後継者世代(59歳以下)の組合員とその家族

※詳細は今月配布のチラシを参照ください。

解体・内装の従事者は必須

「石綿特別教育」支部講習



【技術対策部発】石綿関連の法改正により、4月1日から一定規模の解体工事・リフォーム工事における石綿の事前調査・届け出が義務化されました。また、そのような現場で作業を行うには石綿特別教育の受講が必須です。そこで左記の日程で石綿特別教育の支部講習を開催します。

5月31日までの特別価格ですので、受講希望の方は早めに申込みください。

◆石綿特別教育(支部主催)

【講習日】6月18日(日)

【会場】三鷹武蔵野支部会館2階

9時00分～15時30分予定

【受講料】組合員 4000円
未加入者 8000円

(未加入者は組合費込みの金額)

【締切り】5月31日(水)定員30人

国保組合より 家族保険料「成人男性」の方へ

◇学生、障がい等の方の保険料の減額

「成人男性区分」(23歳以上60歳未満)の方で、①学生の方、②障がいをお持ちの方、③病気治療により労務不能の方は、保険料区分を「一般区分」に変更することができます。

①、③の方は2023年4月に家族保険料区分が「成人男性区分」に変更になっています。継続して該当する場合は早めにご申請ください。

【必要書類】

- ①学生の方：4月以降発行の在学証明コピー
- ②障害の方：障がい者手帳(愛の手帳)コピー
- ③労務不能の方：申請書へ医師の証明

対象の方は早めに申請手続きを

支部休館のお知らせ

下記の日程は支部事務所を閉めさせていただきます。みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

◆4月28日(金)午後
全都拡大推進委員会

◆5月1日(月)
三多摩メーデー

◆5月2日(火)
書記局会議

